

# 南アルプスの豊かな自然を守ろうプロジェクト

～ しずおかの宝「南アルプス」を次の世代につなぐために ～

寄附目標額  
5億円

関連するSDGsのゴール



## 1. 事業概要について

南アルプスとその麓の井川地域は、人と自然が共生する地域として、平成26年にユネスコエコパークに登録されました。基本理念「『高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性』の継承」を実現するため、南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画に基づき、「まもる」「しらべる」「うみだす」「つたえる」「つなげる」の5つの基本方針を軸に、南アルプスの保全と持続可能な利活用に取り組んでいます。

## 2. セールスポイントと独自性

南アルプスユネスコエコパークには、そこにしか生息しない貴重な植物や、絶滅危惧種に指定された動物など、守るべき希少種が数多く存在します。

本市では、南アルプスの豊かな自然環境を保全するため、鹿の食害から植物を守る防鹿柵の設置や、植樹活動、動植物環境調査などに取り組んでいます。また、安全に登山を楽しんでいただくために、市営の山小屋や登山道の整備を行っています。

令和7年7月には、南アルプスユネスコエコパークミュージアムを開館しました。南アルプスの自然環境や井川地域の歴史文化を発信するとともに、地域活性化の拠点として機能しています。今後、官民・市民のさらなる連携強化により、世界に誇る資源を守り、活用していく取組を拡大できると考えています。

## 3. 現状と課題

### 【現状】

ニホンジカによる高山植物の食害や、それに伴うライチョウ生息域の減少が著しい。また、山小屋・登山道の老朽化が進んでいる。

### 【課題】

南アルプスユネスコエコパークの認知度が低く、南アルプスの保全活動に対する意識醸成が難しい。多くの方に関心を持ってもらえるよう、民間事業者と協働で保全活動に取り組むとともに、老朽化した山小屋・登山道を整備する必要があります。



老朽化した高山裏避難小屋



修繕が必要な茶臼岳登山道



荒川岳のお花畑とそこから見える赤石岳

## 4. ベネフィット

10万円以上

- ・感謝状の贈呈
- ・市HPへ企業名、企業ロゴ、寄附金額、企業概要等の掲載

## メッセージ

南アルプスは、豊かな自然とその恵みを受けながら育まれた人々の営みの共生が、ユネスコエコパークにふさわしいとして世界に認められた特別な地域です。

唯一無二の自然や文化を守り、未来に受け継いでいくため、皆様のご支援、ご協力をお願いします。



世界南限に生息する  
特別天然記念物のライチョウ

[担当： 環境局 環境共生課 TEL054-221-1357]